



## 夕陽の未来を担う若き力



夕陽会函館市支部 支部長 三島千春

(昭和五十四年卒)

「もう一度会いたい」と思われる人になるために：山田伸二氏の講演で聴かせていただいたこの言葉が強く心に響いてきました。自分の教職生活の中で、もう一度お会いしたい先生は数多くいる。しかし、私はと自問自答してみたが、答えは残念ながら自分がよくわかっている。

函館大学付属柏稟高等学校の校長である山田氏は、二十数年間、有斗高等学校で教壇に立つと同時にバレーボール部の指導者として活躍してきた。現在も協会の要職に就いている。昨年度後半、財団ニュース「ステップアップ」に「山田先生のスポーツコラム」が連載されていたのは記憶に新しい。この夏、南北海道教育センターが主催した研修会で、組織マネジメント、コーチング、リーダーシップ論などを自分の経験を交えながらの熱い語りに感銘を受けた。

そして、講演の最後に触れたのが、堀紘一著『もう一度会いたい』と思われる人になるために』だった。日本を代表する経営コンサルトである堀紘一氏は、幅広い人脈で誰もがうらやむビジネス人生を歩んできた。しかし、堀氏は、仕事を離れると一転して消極的な「壁の花」タイプで、若いころから出不精で恥ずかしがりだつたそうである。

そんな堀氏は、どうしたら相手がもう一度会ってみたいと思つてもらえるよう

になるかを考え、必死で「自分磨き」をしてきたのだ。また、「一人でスキルを磨いているだけではなく、いろいろな分野の人と人脈を築いて、その中で揉まれながら切磋琢磨することで、人間的にも日々成長していく必要がある。」と力説している。さらに、自分自身を磨いて世の中を渡っていく「I型人間」だけでなく、「I」に横軸一本、つまり人脈が加わった「T型」、しかも横軸や縦軸の「バランスのとれたT型人間」を目指したいものだと、その著書で述べている。

最近ハマっているのが、夜の部活と称しているフォーカソングの店での活動だ。そこには、同業者はもとより、医師、薬剤師、レントゲン技師、IT関連、市職員、会社社長など様々な職種の人間が集まる。まさにT型人間を目指した異業種交流会が展開されている。私にとっては、視野が広がる貴重な場となっている。

二十年後、三十年後の夕陽会大懇親会でも、そうした多様な出会いや新たな絆づくりの場となることが期待できる。結成百周年を目前に今こそ、将来を見据えた夕陽会を考える絶好の時期であり、新たなスタートラインに立つていきたい。

冒頭の山田伸二氏は、函館地区私立高等学校協会会长という立場で、この六月の大懇親会に出席していただいた。「もう一度会いたい」と思う人の一人である。

「もう一度会いたい」と思われる人に

## 夕陽の絆



函館市立  
般法華小学校長  
**宗像 英明**  
(昭和五十六年卒)

「先生になるにはどこの大手に入るのが一番いいの。」「北海道で教師をするなら函館の教育大学が一番だ。」「どうして。」「函館の教育大学には、夕陽会という卒業後も助け合い、学びあえる組織があるのでいろんな点でいいからだ。」「中学一年の時の父と私の会話です。そのとき初めて聞いた夕陽会という名称。父の言葉のままに私の進路は決定し、親子三代にわたって函館の教師、親子二代で夕陽会のお世話をになりました。」



函館市立  
戸倉中学校長  
**木村 雅彦**  
(昭和五十九年卒)

## 戸倉ヶ丘から…

ウグイスの鳴き声を耳にしながら一日が始まるという自然環境に恵まれた戸倉中学校には、二度目の勤務となりました。二〇代後半から三〇代中盤までの「教員としての青春時代」を過ごした 당시に比べ、生徒数は三分の一の三百名、教職員数は二分の一の二十七名であり、「随分小さくなつた」と感じつつ、「我がふるさとに戻ってきた」との思いを強くした四月一日でした。

本校は、校歌の一節にある「美しく心よそだてたくましく体よそだて銳

く知性よそだて」を校訓とし、学校、家庭、地域が一体となつて、「進んで学び、心豊かで、高め合う生徒」の育成に努めています。また、全教職員の協働体制のもと、生徒が三年間過ごすこの学舎を「自立に向けた基礎・基本を身につける学校」であり、「将来の幸せを準備する学校」にすべく種々の取組を進めています。

出勤後、四階校舎から函館山を眺望し、「今日一日、無事でありますように」と祈つてから私の一日が始まり、夕方、香雪の丘に陽が沈み、その日の平穀無事に感謝し一日が終わります。「責任の重さ」が、生徒たちの心に響きます。

今後とも、夕陽会の皆様のご指導ご鞭撻を賜り、函館の教育の充実に少しでも貢献できるよう努めて参りたいと存じますので、よろしくお願い致します。

## 新たな気持ちで

### 緑に囲まれた田園の里「亀尾」から



函館市立  
亀尾小中学校教頭  
**小田 将之**  
(平成二年卒)

この四月に教育行政を離れ、十六年ぶりに念願であった学校現場へ戻つてくることができました。十六年の間で、青少年教育施設、市町村教委事務局、教育局、本府と行政で経験できる職場はすべて経験することができました。また社会教育と学校教育の両方のラインで仕事をする機会を与えていた、だきました。

函館市を含め渡島管内での学校勤務は初めての経験です。大学を卒業して二十一年目、何かの縁を感じます。この度の異動でお世話になつている亀尾小中学校は、全校児童生徒数が四十名の小規模校

です。豊かな自然に囲まれ、児童生徒が惠まれた環境の中で、たくましく育つてあります。今から二十四年前に新採用時に勤務した学校も小中併置校で、場所には違つていても、同じような環境の下にあらん嬉しく思つております。

本校は市内唯一の特認校で、通学区域外から通つてゐる児童生徒も多数在籍しております。少人数学級・小中併置校の利点を生かした学習指導を行つてゐる学校に勤務することができ、たいへん嬉しいです。

本校は市内唯一の特認校で、通学区域外から通つてゐる児童生徒も多数在籍しております。少人数学級・小中併置校の利点を生かした学習指導を行つてゐる「そば栽培学習」や地域の祭典で披露する「太鼓クラブ」の活動など、地域の皆さまからのご支援もいただきながら、様々な教育活動に取り組んでいます。このような特色ある教育活動を推進するにあたり、微力ではあります

とを感じています。ここにも夕陽会の仲間がたくさんいます。自分が先輩諸氏に育てられたように、後輩の夕陽会員とともに働きがいのある職場を作り、子どもの教育に全力を尽くしたいと存じますので、夕陽会の皆様には引き続きご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



函館市立  
白尻中学校教頭  
**田上 直広**  
(昭和六十二年卒)

本校は、昭和二十二年「大船中学校」として創設され、同三十四年に「南茅部町立白尻中学校」、そして、平成十六年市町村合併にて「函館市立白尻中学校」となり、今年開校六十七周年を迎えます。校下には内浦湾を望み、校前からは清流大船川のせせらぎが聞こえます。また、在校区には、道内初の国宝となる中空土偶が展示されている縄文文化交流センターがあります。現在、全校生徒は五十三名で、例に漏れず年々減少傾向にあります。明るく生きる良い生徒たちと、温かいみなざしを守る先生方と、充実した日々を

過ごしております。なお、南茅部といえども登校してきます。しかし、授業には声をかけられ、親切に時には厳しく躾陶を受けました。学級経営、授業の進め方など数えればきりがありません。本当に多くの先輩のお蔭で今の自分があることを感じています。

般法華小学校は函館の東端に位置し、開校百三十四年の伝統校です。現在は一部複式の三十七名。そこに奇しくも児童数と同じ三十七代目の校長として赴任しました。ここにも夕陽会の仲間がたくさんいます。自分が先輩諸氏に育てられたように、後輩の夕陽会員とともに働きがいのある職場を作り、子どもの教育に全力を尽くしたいと存じますので、夕陽会の皆様には引き続きご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

本校は、昭和二十二年「大船中学校」として創設され、同三十四年に「南茅部町立白尻中学校」、そして、平成十六年市町村合併にて「函館市立白尻中学校」となり、今年開校六十七周年を迎えます。校下には内浦湾を望み、校前からは清流大船川のせせらぎが聞こえます。また、在校区には、道内初の国宝となる中空土偶が展示されています。現在、全校生徒は五十三名で、例に漏れず年々減少傾向にあります。明るく生きる良い生徒たちと、温かいみなざしを守る先生方と、充実した日々を

自分自身が憧れる教師に

自分を見る力

生徒を第一に

## 養護教諭になつて



函館市立  
八幡小学校



函館市立  
潮光中学校



函館市立  
光成中学校



函館市立  
磨光小学校

「小学生の頃の自分が憧れる教師」になるために学び続けた、北海道教育大学函館校を平成二十五年三月に卒業し、一年間の期限付きを経て、この春函館市立八幡小学校に赴任いたしました。周りの先生方に助けていただきながら、日々児童たちと真剣に向き合い、忙しくも充実した毎日を過ごしております。

現在は特別支援学級の担任として、児童一人一人が自分の力で生きていくことができるよう、日々研究に励んでおります。得意なことを生かしつつ、新しい力を身につけさせることができ、いかに難しいかを実感しています。しかし、頼れる先生方が周りにたくさんいらっしゃるため、いつも適切なアドバイスをいただいている。日々多くのことを学び、次の指導に生かすのと同時に、先生方への感謝の気持ちでいっぱいになります。

長い教員生活で、これからも悩むことはたくさんあると思います。ですが、「小学生の頃の自分の気持ち」だけは絶対に忘れないようにしたいです。先生の話を聞かなかつたことや廊下を走ったこと、問題行動の理由を、あの時の自分は知っています。児童一人一人の行動の理由を理解し、みんなが笑顔で学校生活を送れるよう、努力を続けたいと思います。

最後になりましたが、夕陽会の諸先輩方には、ご指導ご支援をいたたく場面が多くあるかと思いますが、今後ともよろしくお願ひ致します。

ています。当たり前のことですが、前にあります。自分の力量のなさを痛感しています。

私は授業・指導等で困難を感じることが多々あります。そんな時、自分のことを振り返ると、何かと自分への評価が甘くなってしまいます。だからこそ、先生方に相談したり、自分を客観視できる目というものが、必要になつてくるのではないかと思います。常に自分から見て、先生方と悩みや相談事ができる関係をつくることが大切であり、感謝の気持ちは忘れてはいけません。

また向上心を持つつ、何が自分にでき、何ができるのかを区別し、自分にできないことを相手に自分の言葉で伝えることができるよう努力していくことを、いつもお願いです。

これからもたくさんの先生方から、人の社会人として、教員として様々なことを吸収していくつもりです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

サポートを受けながら、毎日を過ごしております。

教科指導に生徒指導、学級經營など多くのアドバイスをいただいておりますが、そのアドバイスを生かすことができてるか、日々不安を覚えています。帰りが遅くなり、自分の要領の悪さや見通しの甘さを痛感することも多々あります。そんなときに、生徒たちの明るい笑顔や頑張っている姿を見ると、こちらも笑顔になり、生徒に負けないくらいこちらも頑張ろうという気持ちになります。さらに生徒の成長を間近でみることができたときには、他には代え難い喜びを感じ、そこに、教職のやりがいを感じております。

生徒たちのことを第一にを心がけ、生徒たちと共に、学び続ける教員を目指して、自己研鑽に励んでいく決意です。

夕陽会の諸先輩方にはこれからも多くのご指導、ご助言を頂く場面があるかと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

現在、強く感じていることは養護教諭の責任の重さです。養護教諭は一校の人であり、子どもが病気や怪我をしたとき、また感染症の流行がみられる時にはすぐに対応の判断が求められます。その時の判断が誤つていたらと不安になることも少なくありません。私自身の経験不足もありますが、知識も不十分であり、判断材料が足りないことが大きな要因だと思います。経験が少ない分、人よりも多くの努力をすべきであると痛感しています。専門的立場から根拠をもつて対応できるよう、常に学びつづける努力をしていきたいです。

暗い表情で来室する子どもはたくさんいます。私はそのような子どもが笑顔で教室に戻れるような保健室を目指しています。そのためにも私自身、常に笑顔で子どもたちと接していきたいと考えています。子どもたちが安心できる居場所になれるよう広く暖かな心を持ち続けていきたいです。

夕陽会の諸先輩方、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

実した毎日を過ごしております。現在は特別支援学級の担任として、児童一人一人が自分の力で生きていくことができるよう、日々研究に励んでおります。得意なことを生かしつつ、新しい力を身につけさせることができるように、日々多くのことを学び、次の指導に生かすのと同時に、先生方への感謝の気持ちでいっぱいになります。

長い教員生活で、これからも悩むことはたくさんあると思います。ですが、「小学生の頃の自分の気持ち」だけは絶対に忘れないようにしたいです。先生の話を聞かなかつたことや廊下を走つたこと、問題行動の理由を、あの時の自分は知っています。児童一人一人の行動の理由を理解し、みんなが笑顔で学校生活を送れるよう、努力を続けたいと思います。

最後になりましたが、夕陽会の諸先輩方には、ご指導ご支援をいただく場面が多くあるかと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

私は授業・指導等で困難を感じることが多々あります。そんな時、自分のことを振り返ろうとする、何かと自分への評価が甘くなってしまいます。だからこそ、先生方に相談したり、自分を客観的できる目というものが必要になつてくるのではないかと思います。常に自分から見て、先生方と悩みや相談事ができる関係を持つていくことが大切であり、感謝の気持ちを忘れずにいたいです。

また向上心を持ちつつ、何が自分にできて、何ができるのかを区別し、自分にできないことを相手に自分の言葉で伝えることができるよう努めています。

これからもたくさんの先生方から、人の社会人として、教員として様々なことを吸収していくつもりです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

サポートを受けながら、毎日を過ごしております。

教科指導に生徒指導、学級經營など多くのアドバイスをいただいておりますが、そのアドバイスを生かすことができてるか、日々不安を覚えています。帰りが遅くなり、自分の要領の悪さや見通しの甘さを痛感することも多々あります。そんなときに、生徒たちの明るい笑顔や頑張っている姿を見ると、こちらも笑顔になり、生徒に負けないくらいこちらも頑張ろうという気持ちになります。さらに生徒の成長を間近でみることができたときには、他には代え難い喜びを感じ、そこに、教職のやりがいを感じております。

生徒たちのことを第一にを心がけ、生徒たちと共に、学び続ける教員を目指して、自己研鑽に励んでいく決意です。

夕陽会の諸先輩方にはこれからも多くのご指導、ご助言を頂く場面があるかと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

現在、強く感じていることは養護教諭の責任の重さです。養護教諭は一校の人であり、子どもが病気や怪我をしたとき、また感染症の流行がみられる時にはすぐに対応の判断が求められます。その時の判断が誤つていたらと不安になることも少なくありません。私自身の経験不足もありますが、知識も不十分であり、判断材料が足りないことが大きな要因だと思います。経験が少ない分、人よりも多くの努力をすべきであると痛感しています。専門的立場から根拠をもつて対応できるよう、常に学びつづける努力をしていきたいです。

暗い表情で来室する子どもはたくさんいます。私はそのような子どもが笑顔で教室に戻れるような保健室を目指しています。そのためにも私自身、常に笑顔で子どもたちと接していきたいと考えています。子どもたちが安心できる居場所になれるよう広く暖かな心を持ち続けていきたいです。

夕陽会の諸先輩方、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

五、広報活動の充実を図り、地域に貢献できる組織を目指す。

四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。

三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。

二、幹事と若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。

一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。

**母校開学の精神「土地墾闢・人民蓄殖」の精神を確かめ、支部会員の資質向上と親睦の和を深めることを目指した会務の運営に努める。**

**あわせて夕陽会の充実発展に寄与する。**



**○役員**  
**一、支部役員**  
**二、支部役員・業務内容**

小学校長会長	監査										役職
	副幹事長	幹事長	副幹事長	支部長	役職						
山本 公作	石山 史	高間 猛	吉田 敬三	新山 亨	眞崎 彦	加賀 重仁	風間 和夫	三島 千春	氏名	卒業年次	
平2年卒	61年卒	62年卒	62年卒	61年卒	28年卒	62年卒	57年卒	54年卒			
函館市立 鍛神小学校	函館市立 中島小学校	函館市立 柏野小学校	函館市立 桐花中学校	函館市立 神社宮司	函館市立 桐花中学校	函館市立 鍛神小学校	函館市立 中島小学校	函館市立 柏野小学校	函館市立 鍛神小学校	函館市立 桐花中学校	所属
53年卒	53年卒	53年卒	49年卒	47年卒	44年卒	42年卒	39年卒	37年卒	33年卒	32年卒	卒業年次

**二、主な業務内容**

八、特別業務 受賞会員、昇任会員への祝電	七、会費(本部会費・支部会費)の集約 逝去会員へのご香典・弔電	六、本部事業への協力(総会・懇親会) その他の会員の慶弔への祝儀・祝電	五、新会員・転入会員幹事懇親会	四、受賞祝賀会・会員懇親会	三、支部会報の発行(九月・三月)	二、受賞祝賀会・会員懇親会	一、支部総会
-------------------------	------------------------------------	--	-----------------	---------------	------------------	---------------	--------

**平成25年度 一般会計決算書**

**1. 収入の部**

項目	25年度予算額	25年度決算額	増減(▲)	摘要
会費	現職会員 780,000	742,000	▲ 38,000	742名×1,000円
会費	年会費 20,000	26,000	6,000	年次会員 26名
総額	130,942	130,942	0	
総額	120,000	120,000	0	前納会計から
補助	30,000	0	▲ 30,000	
収入	258	103	▲ 155	利子
合計	1,081,200	1,019,045	▲ 62,155	

**2. 支出の部**

項目	25年度予算額	25年度決算額	増減(▲)	摘要
事務費	120,000	74,984	▲ 45,016	コピー代、用紙、封筒
事業費	450,000	418,725	▲ 31,275	会報、広告代、発送料等
会議費	250,000	225,400	▲ 24,600	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	180,000	117,860	▲ 62,140	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	60,000	54,320	▲ 5,680	各種会費等振込手数料
雜費	10,000	0	▲ 10,000	
予備費	11,200	0	▲ 11,200	
合計	1,081,200	891,289	189,911	

〈収支決算〉	収入	支出	残高
	1,019,045	891,289	127,756

**平成26年度 一般会計予算書**

**1. 収入の部**

項目	25年度予算額	26年度予算額	増減(▲)	摘要
会費	現職会員 780,000	740,000	▲ 40,000	740名×1,000円
会費	年会費 20,000	25,000	5,000	年次会員
総額	130,942	127,756	▲ 3,186	
総額	120,000	120,000	0	前納会計から
補助	30,000	0	▲ 30,000	本部より
収入	258	244	▲ 14	利子
合計	1,081,200	1,013,000	▲ 68,200	

**2. 支出の部**

項目	25年度予算額	26年度予算額	増減(▲)	摘要
事務費	120,000	100,000	▲ 20,000	コピー代、用紙、封筒
事業費	450,000	430,000	▲ 20,000	会報、広告代、発送料等
会議費	250,000	250,000	0	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	180,000	160,000	▲ 20,000	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	60,000	60,000	0	各種会費等振込手数料
雜費	10,000	5,000	▲ 5,000	
予備費	11,200	8,000	▲ 3,200	
合計	1,081,200	1,013,000	▲ 68,200	

**平成25年度 前納会計決算書**

**〈収支状況〉**

前年度残高	2,667,709
H25年度納入額	80,000
利子収入	763
一般会計へ	120,000
合計	2,628,472

**〈残高明細〉**

種類
普通預金1 2,163,178
普通預金2 465,294
合計 2,628,472

**平成26年度 前納会計予算書**

**〈収支状況〉**

前年度残高	2,628,472
H26年度納入額	100,000
一般会計へ	120,000
合計	2,608,472

															学 校 名	転 入 会 員																				
桔	赤	錢	亀	戸	湯	西	大	日	戸	南	神	鍛	赤	亀	昭	桔	上	湯	北	日	深	駒	千	中	港	あ	青									
梗	川	龟	尾	倉	川	沢	小	新	井	本	山	神	川	田	和	梗	川	日	吉	が	堀	場	千	代	島	さ	柳									
中	中	中	中	中	中	中	小	西	通	山	通	家	木	谷	嶋	野	田	谷	吉	丘	小	小	小	島	ひ	小										
小	平	木	小	小	山	斎	横	大	本	林	中	井	山	細	鎌	田	黒	氏	佐	塩	福	倉	本	瀧	道	阿	勝	工								
松	野	田	侯	田	田	藤	山	山	田	橋	里	上	崎	川	倉	中	瀧	家	木	谷	嶋	野	田	谷	幸	部	海	藤	橋							
隆	高	義	み	将	好	由	真	夏	武	一	真	健	紀	康	美	宏	美	英	博	奈	篤	文	成	か	紀	真	大									
太	太	郎	志	宣	お	之	亘	豪	美	江	志	良	敦	男	修	喜	二	子	子	佐	二	鈴	文	志	靖	乃	史	聖	孝	裕	り	子				
志	宣	お	之	亘	豪	美	江	志	良	敦	男	修	喜	二	子	子	佐	二	鈴	文	志	靖	乃	史	聖	孝	裕	り	子	健	豊	二				
H	H	H	S	H	H	H	H	S	H	H	S	H	S	H	H	S	H	H	S	H	S	S	S	S	S	S	H	S								
10	11	6	63	2	14	9	14	62	18	5	56	8	56	12	5	58	8	15	1	56	9	63	55	15	14	14	18	62	58	6	61	59	58	56	3	61

															学 校 名	各 学 校 幹 事	新 採 用 会 員															
千	高	港	万	八	北	中	あ	青	弥	磨	光	潮	八	旭	亀	北	教	附	附	白	尾	榦	惠	潮	桐	亀	梗					
代	盛	年	幡	星	部	さ	柳	生	小	光	成	光	幡	岡	田	小	中	附	属	附	白	札	法	山	光	花	田	梗				
ヶ	岱	橋	橋	橋	橋	橋	柳	生	小	成	光	幡	岡	田	中	中	属	属	属	白	尻	尻	部	華	中	中	中	中				
佐	村	山	土	酒	鈴	川	工	二	高	武	大	久	有	山	藤	橋	高	渡	金	齊	福	中	間	伊	日	松	木	菊	三	後		
々	木	上	内	野	井	木	森	藤	堂	谷	田	村	慈	我	口	田	本	邊	子	籬	井	川	瀬	藤	野	岡	村	池	上	藤	子	
好	兼	祐	雅	光	奈	綾	敏	智	美	友	悠	友	良	輝	拓	美	斗	直	智	伸	證	龍	昌	利	麻	直	理	昌	樹	和	縁	一
人	人	史	美	子	典	満	史	人	人	介	悠	紀	友	馬	斗	子	介	和	縁	一	子	生	彰	史	夫	岐	人	惠	秀	潤		
6	8	15	7	11	6	8	11	10	7	26	26	25	25	24	20	14	26	16	60	57	14	62	55	62	56	12	8	7	3	15		

大	五	凌	宇	潮	西	大	白	磨	榦	え	日	戸	南	本	東	神	鍛	北	中	赤	亀	昭	北	高	湯	北	日	深	駒	金	柏	千	中										
賀	雲	の	見	船	尻	光	法	さ	新	井	本	通	山	山	神	美	央	川	田	和	昭	の	梗	崎	岡	丘	川	吉	が	堀	場	堀	野	田									
川	稜	浦	見	船	尻	光	法	ん	新	井	本	通	山	山	神	原	央	川	田	和	和	澤	岡	丘	川	吉	が	堀	場	堀	野	田											
中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中										
辻	中	葛	鈴	中	横	中	島	武	中	丹	本	鎌	山	長	安	山	須	酒	澤	久	新	黒	小	吉	木	佐	齊	小	米	中	飛	村	新	道	池	吉	成	中	黒				
村	西	木	山	山	村	村	田	村	治	田	田	岸	川	彦	崎	藤	井	保	谷	嶋	野	岡	崎	藤	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋
淳	卓	猛	梢	央	豪	子	広	美	司	恵	江	吾	徳	美	恵	修	吾	文	平	弓	子	美	子	子	美	智	希	誠	之	弓	子	広	俊	史	史	代	里	久	二				

6 7 8 6 5 3 5 6 8 7 3 6 4 9 11 17 14 14 16 16 8 10 17 15 11 22 3 5 7 10 9 14 11 17 14 11 12 13 9 10

															支 部 事 務 局 体 制 (鍛 神 小 学 校)	分 掌	会 計 部	廣 報 部	庶 務 部	總 務 部															
氏	名																																		
○	高	間	細	青	川	ソ	山	神	岡	下	田	野	○	打	高	間																			
猛	・	須	勝	賢	・	遠	ト	ン	幸	一	宇	佐	美	・	亮	介	猛	・	山	本	公	作													
部	長	健	吾	剛	史																														
7	10	11	13	4	1	4	9	5	5	7	6	8	24	10	22	11	13	6	11	5	7	10	15	11	13	5	8								

